

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	にぎわいとくつろぎの都市拠点整備事業														
計画の期間	令和02年度～令和04年度（3年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	知多市														
計画の目標	名鉄常滑線朝倉駅の西側市有地を市の玄関口にふさわしいにぎわいの交流拠点として整備する中で、駅前ロータリーの規模や構造を見直し、再整備を行う														
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		474	A	474	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2		R4
1	駅利用者アンケートによる駅前広場利用に関する満足度20%以上を達成			
	駅利用者にアンケートを実施し、満足度を確認する。	15%	%	20%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	知多市	直接	知多市	-	-	朝倉駅周辺地区都市・地 域交通戦略推進事業	朝倉駅前広場整備	知多市	■	■	■			474	2.1	未策定	
												小計						474		
											合計						474			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

知多市都市整備部土木課で事業に対する審査・評価を実施。

事後評価の実施時期

令和7年3月

公表の方法

評価完了後、知多市のホームページにて公表。

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

駅前ロータリーについて、安全な動線を確保するため、公共交通（バス・タクシー）と一般車を分離し、広場には、くつろぎ空間を確保するため、植栽やベンチを設置した整備を行いました。さらに、段差の解消や、広い乗降スペースの確保など、バリアフリーを意識した整備を行った結果、駅利用者の満足度が向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

公共交通（バス・タクシー）と一般車の交錯を解消し、駅前ロータリーの安全と利便性が向上した。ロータリーと道路を分離したことで、通過交通の円滑化が図られた。

○特記事項（今後の方針等）

引続き、駅西側の市有地を市の玄関口にふさわしい、にぎわいの交流拠点として、市役所、図書館、子育て支援施設を整備することにより、地域の活性化を先導していきます。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	20%	安全な動線、くつろぎ空間を確保し、バリアフリーを意識した整備を行った結果、満足度が増加することとなった。
	最 終 実績値	31%	